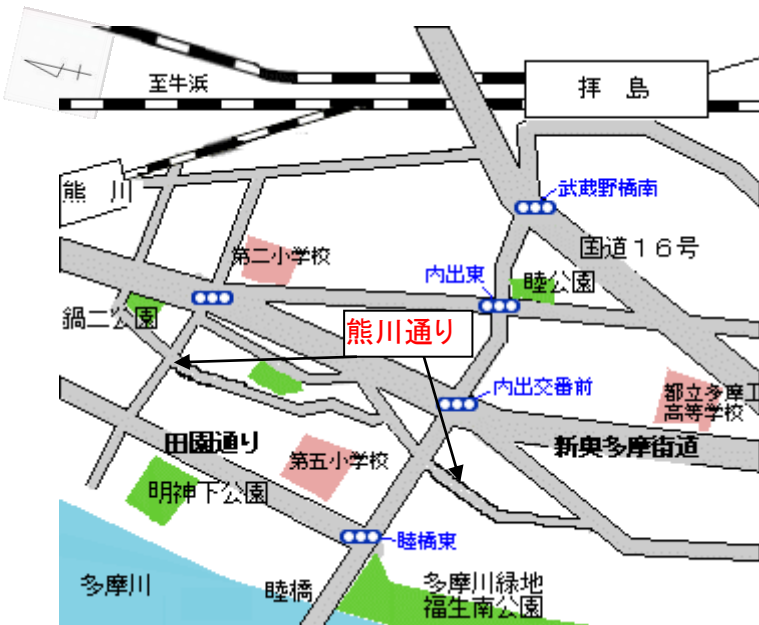




熊川通り

皆さんが住んでいる熊川の、すてきな場所を紹介していくコーナーです。住んでいても、意外と知らない所があるかも？ 第7回は、白梅分館で活動している「熊川分水に親しむ会」の黒沢吉信さんにお気に入りの場所を紹介していただきました。



福生市熊川の奥多摩街道とJR五日市線が交差するところに踏切があります。この踏切の東側に踏切番のいた旧熊川駅がありました。この踏切脇を熊川分水が流れ、線路を10m程下ると今は遮断されている踏切跡があります。この通りが熊川通りです。昭和初期には奥多摩街道とも青梅街道とも呼ばれ、沿道には多くの商店が店を構え、『熊川銀座』といわれるほど活況を呈していたようです。ほぼ道路沿いに熊川分水が流れ、分水を利用した家並が踏切から森田製系（片倉）、熊川神社、石川酒造へと続いています。

(文 黒沢吉信)